

1 沿革

年	月	事	項	年	月	事	項
大正 8 (1919)	12	開港 60 年・自治制 30 周年記念事業として図書館の建設を計画。		昭和 62 (1987)	4	地域図書館の火曜日から木曜日の閉館時間を午後 5 時から午後 7 時に変更。	
	10 (1921)	横浜公園内の建設事務所内仮閲覧所で図書の閲覧開始 (横浜市図書館の創立)。			5	「横浜中央図書館基本構想委員会報告書」提出される。	
	12 (1923)	関東大震災により、建物と蔵書を焼失。			10	神奈川図書館開館。	
昭和 2 (1927)	7	旧老松小学校跡に横浜市図書館が竣工。			11	各図書館報を統合し、『横浜市立図書館報 横浜』創刊。「文化の日」開館開始。	
	20 (1945)	横浜連隊区司令部の接收により、戸部小学校に移転。		平成元 (1989)	2	泉図書館開館。	
		5 横浜大空襲。			3	栄図書館開館。	
	22 (1947)	移転先より復帰。			5	中図書館開館。「こどもの日」開館開始。	
	29 (1954)	団体貸出事業開始。			2 (1990)	3 横浜市図書館仮設館開館。	
	32 (1957)	『郷土よこはま』創刊。			9	中央図書館建設工事開始。	
	34 (1959)	国立国会図書館と相互貸借を開始。			3 (1991)	4 神奈川県図書館情報ネットワークシステム (KL-NET) に加入。	
	45 (1970)	移動図書館「はまかぜ 1 号・2 号」による巡回貸出開始。				バンクーバー公共図書館と図書交換開始。	
	49 (1974)	磯子図書館開館。			4 (1992)	12 南図書館開館。	
	52 (1977)	山内図書館開館。			6 (1994)	1 各図書館で「横浜市立図書館情報システム」による窓口業務開始。	
	53 (1978)	11 戸塚図書館開館。横浜で初めて貸出にコンピュータ方式採用。				2 中央図書館開館。	
	54 (1979)	5 戸塚図書館を皮切りに視覚障害者サービスを開始。			4	4 「横浜市立図書館情報システム」全面稼動。	
	55 (1980)	1 鶴見図書館開館。			12	12 「ゆめはま 2010 プラン」基本計画策定。	
		5 金沢図書館開館。			7 (1995)	4 都筑図書館開館。	
		7 『図書館報よこはま』創刊。			5	5 緑図書館開館。	
		8 港北図書館開館。			8 (1996)	1 中央図書館、来館困難な障害者に対する郵送貸出サービス開始。	
		9 中国・上海図書館と図書交換開始。			4	4 「横浜市立図書館所蔵資料検索ネットワーク」稼動	
	56 (1981)	1 中国・遼寧省図書館と図書交換開始。			5	5 中央図書館、CD-ROM 検索サービス開始。	
		10 横浜市図書館創立 60 周年記念講演会・パネル展開催。			10 (1998)	3 図書館ホームページを開設、インターネットによる蔵書検索サービス開始。	
		12 「よこはま 21 世紀プラン」策定、一区一館建設及び中央図書館建設方針を確立。			11 (1999)	5 「庁内情報拠点化事業」開始。	
	57 (1982)	5 保土ヶ谷図書館開館。			11	11 磯子図書館、磯子区総合庁舎内に移転開館。	
	58 (1983)	2 戸塚図書館を皮切りに、地域図書館における団体貸出開始。			12 (2000)	4 市立図書館全館で祝日開館等年間 30 日の開館日拡大。中央図書館の平日の開館時間を午後 8 時 30 分まで延長。	
	60 (1985)	1 瀬谷図書館開館。			13 (2001)	12 市立図書館全館で月曜日を閉館。	
	61 (1986)	5 旭図書館開館。			15 (2003)	1 「横浜市立図書館情報システム」を更新。	
		10 横浜中央図書館基本構想委員会設置。					
	62 (1987)	1 港南図書館開館。					